

セタカマイ

発行 古平中学校

No.12

令和6年3月22日

TEL 42-2557

FAX 42-2558



【学校教育目標】

- ・自ら考え、正しい判断をする生徒を育てる
- ・温かな心を持ち、誰をも思いやる生徒を育てる
- ・自分に厳しく、お互いに助け合う生徒を育てる
- ・しなやかで、健康な体をもつ生徒を育てる

旅立ちの日に

校長 秋 元 大

太陽の光が日々力を増し、視界を遮っていた大きな雪山がみるみるその高さを減らしてきたこの頃、保護者、地域の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先日行われた第77回卒業証書授与式では温かな春の日差しの中、21名の3年生が、この古平中学校を巣立っていきました。一抹の寂しさと不安を抱えながらも、新しい世界への期待に胸を膨らませ、清々しい笑顔で学校を後にしました。在校生も、その姿に心からの拍手を送るとともに、全校合唱を通してこれまでの感謝と受け継ぐ決意を伝え、保護者、来賓、教職員と一緒に門出を祝いました。卒業生の未来に幸多き事を心からお祈りしています。

3月から4月は、別れと出会いの季節であり、新たな環境へと移ろう季節でもあります。卒業、進級、進学、入社、人事異動、その他多くの事が望むように、あるいは望まなくても変化していきます。一人一人がそれぞれの場所で、力をつけ、発揮していかなければなりません。学校として、生徒の成長を力強く後押しする体制を整えるとともに、私自身も気持ちを新たに、学校運営への取り組みを進めて参ります。

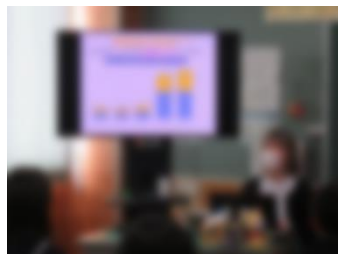
この一年の間に保護者、地域の皆様から寄せていただいたご厚情に深く感謝を申し上げますとともに、新年度も変わらぬご理解、ご協力をいただくようお願い致します。

－ 保健講座 －

3月7日（木）に3年生を対象にした保健講座を行いました。古平町の保健師 佐川氏を講師に迎え、思春期における男女交際のあり方や、妊娠と性感染症のしくみについて話をしてくださいました。

生徒たちは真剣に話に聴き入り、お互いに指摘し合いながら学級生活での男女の関わり方について考えていました。

中学校卒業後は生活環境が大きく変化します。これからも、自分の心と体を大切にすることはもちろん、相手のことも尊重して良好な人間関係を築き、有意義な高校生活を送ってほしいと思います。

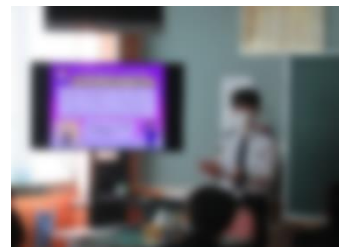


－ 薬物乱用防止教室 －

3月8日（金）に余市警察署 長谷川氏を迎え、3年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。

20歳未満は禁じられている喫煙や飲酒を経験してしまうと、罪悪感が薄れて薬物にも手を染めてしまう危険性があることや、たった一度の薬物経験から薬物依存に陥る恐ろしさについて映像を交えて教えてくださいました。生徒たちは日常生活に潜む薬物の恐ろしさについて真剣に学びました。

卒業後も決して薬物や煙草に依存することなく、自分自身の生活を大切にして力強く歩んでほしいと思います。



学び舎を築立つ ～卒業証書授与式

3月15日（金）、暖かい日差しがふり注ぐ中、「第77回卒業証書授与式」が挙行されました。多くのご来賓や3年生保護者の皆様に参列をいただき卒業式を行うことができました。

生徒一人一人に「卒業証書」が校長先生より手渡され、逞しく成長し、とても頼もしい生徒たちの姿が見られました。「答辞」では、卒業生代表の3年Nさんから「何気ない日々の何気ない会話が私の一番の思い出です。そんな些細な日常が私を成長させてくれました。そう思わせてくれたのはこのクラスだったからです…」と述べ、3年間、仲間と過ごした一つ一つの出来事がとても貴重なものだったと伝えてくれました。

あたたかな雰囲気の中、21名の卒業生がこの学び舎を築立っていきました。卒業生には、古中で過ごした3年間の経験を糧に、新しい環境でも「できること」を精一杯頑張ってもらいたいと思います。また、在校生には、この全校でつくったあたたかな雰囲気を、これからの古中へとつないでほしいと思います。卒業生、在校生のこれからの活躍を期待しています。



最後の交流 ～3年生を送る会&古中レク

3月11日（月）、全校が参加する生徒会行事「3年生を送る会」が行われました。3年生を拍手で迎え、各学年企画のクイズや、各部活動からのメッセージ動画、吹奏楽部の演奏など、どれも3年生に楽しんでもらえる、また、全校で思い出に残るあたたかい内容でした。

翌12日（火）には古中レク「借り人競争」が行われお題に合う人と先輩後輩関係なく手をつなぎ、笑顔でゴール目指して走り抜けていました。異学年との交流がなかなかできない数年間でしたが、とても楽しい最後の交流となりました。

企画・準備をしてくれた生徒会、そして1・2年生のみなさん、ありがとうございました。



ご協力・ご支援ありがとうございました

一年間の教育課程がすべて終了いたしました。新型コロナウイルス感染症の5類への移行後も、学校閉鎖等がありましたが、ほぼ通常通りの教育活動を行うことができました。本校の教育活動へのご協力・ご支援、本当にありがとうございました。

4月8日より新たな一年がスタートします。引き続き、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

お世話になりました ～離任する教職員

○柴田靖士 教頭先生（倶知安町立倶知安中学校へ）

この度の人事異動で倶知安町立倶知安中学校へ転勤となりました。生徒たちが笑顔で登校する様子、真剣に学習に取り組む態度、楽しみ協力し合う学校行事、……。もうこの毎日の当たり前の光景を見ることができないと思うと、とても寂しい気持ちでいます。

日々、様々な経験から確実に成長が見られる生徒たち、そしてそれに伴い変化していく学校の雰囲気。古平中学校で過ごした日々は、私にとってとても貴重な時間でした。

生徒のみなさん、色々なことに進んで取り組み、「自分らしさ」に磨きをかけ、互いに影響を与え合っていて、「挑戦できる学校」を全員で作りあげてください。みなさんならきっとできます。頑張ってください。応援しています。

保護者の皆様、地域の皆様、わずか1年7ヵ月の期間でしたが、大変お世話になりました。これからも子どもたち、学校のためにお力添えをよろしくお願いいたします。

古中生の今後の更なる躍動を願い、転勤の挨拶いたします。皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○飯山美仁 先生（倶知安町立倶知安中学校へ）

古平中学校にお世話になり、3年という月日が経ちました。その間、素直な生徒達に囲まれ、日々の勉強、行事に取り組む事ができました。

今でも思い出すのは、春先のグラウンドでの体育の授業において、強風の中でも元気いっぱい活動する生徒たちの姿です。

また、学校行事には常に多くの保護者の方々が来校して下さり、子ども達へ沢山の愛情を注いでいることを実感し、それが私の原動力となっていました。そして、この3年間は特別支援学級の担任として、多くの事を学ぶことができました。

次の異動先は、倶知安町立倶知安中学校ですが、古平中学校の生徒達や保護者の皆様、地域の方々から頂いた沢山のエネルギーを異動先でも発揮できるよう、それが古平中学校への恩返しとなるよう頑張っていきたいと思っています。

これからも皆様のご健康を少し離れた地から願っております。3年間、ありがとうございました。

○竹内ひとみ 学習支援員（退職）

5年間勤務させていただきました。色々と考えこともありましたが、私も一緒に勉強できたと思います。また、生徒の皆さんがひとつ経験を積むたび、どんどん自信にあふれる表情になっていく。そんな姿を近くで見れてとても嬉しかったです。

これからも地域の一人として応援し続けます。ありがとうございました。

